
蒼い石 ~ ROCKMN EXE&SHOOTING STAR ROCKMAN

ギルドの霸王

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

蒼い石〜ROCKMAN EXE&SHOOTING S
TAR ROCKMAN

【Nコード】

N1372H

【作者名】

ギルドの霸王

【あらすじ】

ムー大陸の消滅から数週間。スバルはマイブームで読書にはまっていた。そしてとある日の学校の昼休みの事。なにやら不思議な本を見つけてしまい・・・

第1話 空白のページ（前書き）

ご注意

この話は現在自分が連載中の「覇を争う者 流星のロックマン」とは別世界の話です。

また、更新速度が遅くなるかもしれません。そこをご承知の上で読んで下さい。

それではどうぞ〜

第1話 空白のページ

『伝説のヒーロー』

この世界がまだ電波社会ではなく、電気で社会が作られていた当時、そこに何度も地球を救った二人の英雄がいた。

一人は人間。しかし、もう一人は人間ではない。

自らの意思を持ったコンピューター、『ナビ』というものである。

ナビはこの世界でいう、電波体のようなものだ。人間と喋る事も出来る。しかし、あくまで電波体のように地上と働いたりすることは出来ない。

彼らは電脳の中、．．つまりパソコンや携帯電子機器でしか生きられないのだ。

これは、その一体のナビと一人の人間が起こしてきた実際に存在した軌跡を描いた物語である。

キーン、コーン、カーン、コーン

「あれ、もう昼休み終わったの？これからこの話読んでごうと思っただのに・・・。」

スバルは最近、小学校の昼休みによく図書室に来ていた。今スバルのマイブームは、読書になっていた。

「これから読むところだったのに・・・ん、何これ？」

スバルはその本の中から光る蒼い石を見つけた。ご飯粒3つくらいの大きさの石だ。

スバルはあまりに綺麗だったため、そのまま自分のポケットに入れた。

「スバル、何してんだ？早くしねえと先生が怒るぜ。」

ウォーロックが話しかける。スバルは頷いて教室へ向かった。

「あ、うん。今行くよ。」

やがて、学校が終わり夕方になった。

今日はスバルはルナ達とは帰らなかった。昼休みに読んだ本を早く家に帰って読みたいからだ。

スバルは家に帰ると、手も洗わずうがいもせずに自分の部屋に向かった。

しおりを挟んでいたページを開き、文章を読む。すると、

『バンダナに大きく髪跳ねている元気な少年。そして、その少年のナビ。その名は、ロックマン。』

「・・・ロックマン!?これって、2000年前のロックマンの話なの?」
スバルはかなり驚いた。今まで知りたがっていた2000年前のロックマンがここに書かれているからである。

「WWW、ネビュラといった数々の組織を倒していった・・・このWWWって、何度もロックマンに挑んだけど負けたんだね。」

小説を読んでいるうちにあかねが帰ってきた。スバルは夕飯を終えると再び部屋に向かった。

読んでいくうちにどんどん深みにはまっていく、そんな小説だったのだ。

そんな矢先に、空白のページが見つかった。それ以降のページも、すべて白紙である。

「ちよつと・・・何これ？」

あきらかにおかしかった。本をめくってもめくっても、白紙ばかり。この小説は約500ページあるが、空白は200ページからずっと続いていた。

すると、500ページ・・・つまり最後ページに文字が書かれていた。

『此処に英雄の石を当てよ』

「英雄の石・・・？ひよつとして、この蒼い石の事？」

スバルは石を当てた。すると、なんと500ページから紋章が現れたのだ。

その紋章をよく見ると、『EXE』と書かれているようにも見えた。

スバルは珍しそうに紋章を見つめると、意識が急に飛んだ。

目を開けるとそこは、コダマタウンに似ているようで似ていない、そんな町にいた。

「此所は・・・？」

辺りを見回すと、ウエーブステーションが見つからない。ましてや、電波体ひとつ見つからないのだ。

「あの、今は西暦2千何年ですか？」

スバルは女の人の通行人に、今現在の西暦を聞いた。すると、驚く返事が帰ってきた。

「今は20XX年よ。」

20XX年・・・そう、スバルのいる22XX年からちょうど200年前だったのだ。

「ところで君、私の息子によく似てるわ。」

「そ、そうなんですか……。とにかく、ありがとございました。」
スバルは礼を言うと、その町を歩いていた。すると、とある看板を
見つけたのだ。

『秋原町』

そう。さきほど読んだ小説に書かれていた、主人公のバンダナ少年
が住む町だったのだ。

第1話 空白のページ（後書き）

どうでしたか？まだまだ駄文ですが楽しんでいただければ嬉しいです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1372h/>

蒼い石 ~ ROCKMN EXE&SHOOTING STAR ROCKMAN

2010年10月9日12時36分発行